
VR 脱出アドベンチャーゲーム
『Last Labyrinth (ラストラビリンス)』
正式リリース決定！ & 東京ゲームショウ 2018 出展のお知らせ

あまた株式会社は、VR 脱出アドベンチャーゲーム『Last Labyrinth (ラストラビリンス)』の正式リリース決定と、「東京ゲームショウ 2018」(会期:2018 年 9 月 20 日～23 日 於:幕張メッセ)へ出展することをお知らせいたします。

■『Last Labyrinth (ラストラビリンス)』とは



「VR 時代の新しいアドベンチャーゲーム」をコンセプトに開発され、VR だから実現できる世界観と仮想キャラクターとのコミュニケーションを体感できる「VR 脱出アドベンチャーゲーム」です。初披露となった東京ゲームショウ 2016 ではプレビューバージョンであるにも関わらず、長蛇の列を生み、プレイ後の感想では発売を望む声が殺到し

ました。また、欧州最大の VR イベント「Laval Virtual 2017」では、最も優れた VR/AR コンテンツとして Laval Virtual Award Best VR/AR Contents を受賞し、海外でも高く評価されました。

開発は『どこでもいっしょ』(1999 年、PlayStation®)シリーズのディレクター・プロデューサーを務めた高橋宏典がディレクター・プロデューサーを担当し、その他にも有名ゲームタイトルに携わってきたメンバーが多数参加しています。

■2019 年春(予定) 正式リリース決定！

皆様からのご好評を受け、この度、正式にリリースすることを決定いたしました。2019 年春に世界同時・マルチプラットフォーム対応にて発売を予定しています。配信プラットフォーム(ダウンロード専用)は PlayStation®Store、Steam®, Oculus Store、Microsoft Store、対応ヘッドマウントディスプレイは、PlayStation®VR、HTC Vive、Oculus Rift、Windows Mixed Reality Headset となっており、幅広い VR ユーザーにプレイしていただけます。

■「東京ゲームショウ 2018」出展

正式リリースを前に、本作の一部を体験できる、『TGS 限定試遊版』を「東京ゲームショウ 2018」の「VR/AR コーナー:10-W09」に出展いたします。ぜひこの機会にプレイしてみてください。

■ストーリー

「…ここは、いったい!？」

気が付くと、見知らぬ館の中にいた。

椅子に座っていたので立ち上がろうとしたが、動くことができない。身体を見ると拘束具で全身を固定されている。手首も固定されていて自由が効かない。

座っているのはどうやら車椅子のようだ。

視界の隅に、人影を感じる。

「!？」

目の前には、少女が一人。冷たい瞳でこちらを見つめていた。

■キャラクター

館の中で出会う謎の少女。プレイヤーを手助けしながら共に脱出を目指す。

■スクリーンショット



※画面は全て開発中のものです。内容・仕様は正式版と異なる場合があります。



■ゲーム概要

タイトル:Last Labyrinth (ラストラビリンス)

ジャンル:VR 脱出アドベンチャーゲーム

対応 HMD:PlayStation®VR、HTC Vive、Oculus Rift、Windows Mixed Reality Headset

対応機種:PlayStation®4、上記 HMD 推奨 PC 相当(Intel® Core™ i5 4590 /NVIDIA GeForce GTX 1060 以上)

配信プラットフォーム(ダウンロード専用):PlayStation®Store、Steam®、Oculus Store、Microsoft Store

プレイ人数:1 人

オンラインモード:非対応

発売日:2019 年春予定

CERO:審査予定

価格:未定

公式サイト:<http://lastlabyrinth.jp>

著作権表記:©2016 AMATA K.K.

東京ゲームショウ 2018 小間番号:10-W09

■会社概要



会社名:あまた株式会社

代表:代表取締役社長 高橋 宏典

所在地:〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-5-2 佐藤ビル 5 階

設立:2008 年 6 月 25 日

事業内容:ゲーム事業他

公式サイト:<http://amata.co.jp/>

公式ブログサイト:<http://blog.amata.co.jp/>

あまた株式会社について:弊社は大手ゲーム会社のスマートフォンゲームの開発を多数手がけているゲーム開発会社です。ゲーム業界のキャリア 20 年以上のベテランゲーム開発者が多数在籍しており、その豊富な経験を生かしてゲームの企画、開発、運営を行っています。ゲーム開発を軸に、VR や映像、メディアなど、エンタテインメント領域における新規事業への取り組みも積極的に行っています。